

できることから始めよう 家庭でできる節電メニュー

基本メニュー

冷蔵庫

- ・設定を「強」から「中」に変える
- ・扉を開ける時間をできるだけ減らす
- ・食品を詰め込まない



エアコン

- ・室温設定28℃を心がける
- ・すだれやカーテンなどで窓からの日差しを和らげる
- ・無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う



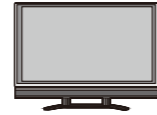
温水便座

- ・便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば利用する



テレビ

- ・省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げる
- ・必要な時以外は主電源を切る



ジャー炊飯器

- ・早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存する



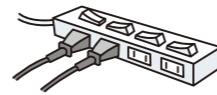
照明

- ・日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らす
- ・LEDなど省エネ型の照明器具に交換する



待機電力

- ・リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- ・長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く



さらに効果的です

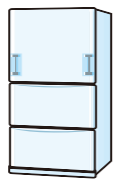
エアコン

- ・フィルターを定期的(2週間に1回程度)に掃除する
- ・2部屋それぞれ使用している場合は、1部屋(1台)に減らして使用する



冷蔵庫

- ・壁との間に適切な間隔を空けて設置する



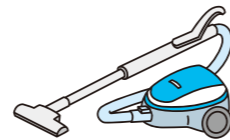
電気ポット

- ・お湯はコンロで沸かし、ポットの電源は切る



掃除機

- ・紙パック式はこまめにパックを交換する
- ・昼間のピーク時はモップやほうきを使用する



洗濯機

- ・容量の80%程度を目安にまとめ洗いをする



パソコン

- ・日中、短時間であればノートパソコンの電源を抜く(バッテリーの活用)
- ・省電力設定を活用する



ライフスタイル

- ・節電のための家事スケジュールを立てる
- ・日中(特に午後1時~5時)を避けて電気製品を使用する

その他

- ・契約電力の見直し(適切なアンペア設定)

でんき予報(電力の使用状況)

九州電力のホームページに「本日のでんき予報」(日々の需給状況)と「週間でんき予報」(週間の需給見通し)を掲載しています。

九州電力ホームページ

<http://www.kyuden.co.jp/>

緊急時の節電ご協力お願いメール

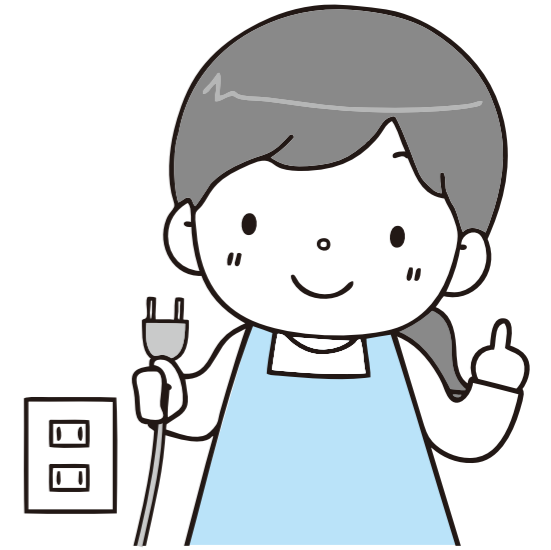
電力の需給状況が大変厳しい場合、携帯電話に「緊急時の節電ご協力お願いメール」を配信します。メール配信には、携帯電話メールアドレスの登録が必要です。

九州電力携帯電話版ホームページ

<http://kyuden.jp/>



家族みんなで夏の節電



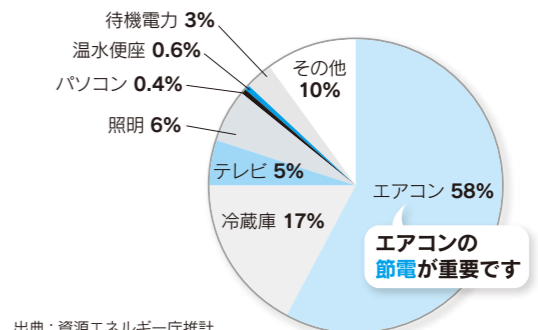
冷房などの使用により電力需要が増える夏。7月~9月の平日、午前9時~午後8時の間、できる範囲での節電に取り組みましょう。一人一人の取り組みが大きな節電につながります。

日中の節電が重要です

夏場は冷房需要が増え、1日の中では午後2時頃に家庭を含む全体の電力需要が最も大きくなります。1日を通じた節電を心がけつつ、平日の日中(午後1時~5時)を避けて使用し、使用する時間帯が重ならないように工夫しましょう。

屋内でも熱中症にかかることがありますので、普段から、室温管理や水分補給に留意してください。特に、高齢者、乳幼児、体調・体力に不安のある人は、十分に気をつけましょう。

夏の昼間(午後2時頃)の電気機器の使用状況



出典: 資源エネルギー庁推計

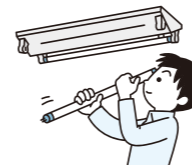
※エアコンの控え過ぎによる体調不良に気をつけて無理のない範囲で節電をしましょう。

市の取り組み

各庁舎・支所、公共施設でも節電に取り組んでいます。

照明

- ・正午~午後1時の昼休み時間は消灯をする
- ・業務時間中、支障のない範囲(窓際など)で照明を間引く



クールビズ

5月7日から実施しています。



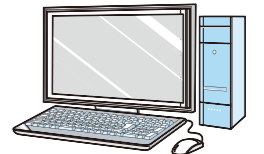
エアコン

- ・設定温度を28℃にする(吹き出し口設定を27℃)
- ・稼働台数を間引く



パソコン

- ・モニターの照度設定を下げる
- ・退庁の際は主電源を切る
- ・プリンターの稼働台数を減らす
- ・コピー機やプリンターでの印刷は最少限にする



緑のカーテン

西合志庁舎の南に面する側に、毎年ゴーヤやヘチマなどのつる性の植物で緑のカーテンを作っています。



問い合わせ先 環境衛生課(合志庁舎) ☎248-1202